

現存する日本最古の地球儀です。元禄8年（1695年）に渋川春海（二世安井算哲）が製作しました。

国立科学博物館所蔵の地球儀を許可を得て、カメラで撮影し、デジタル化しました。実際の地球儀には支える軸があります。画像合成のために色や縮尺等、一部正確ではない所がありますのでご注意下さい。

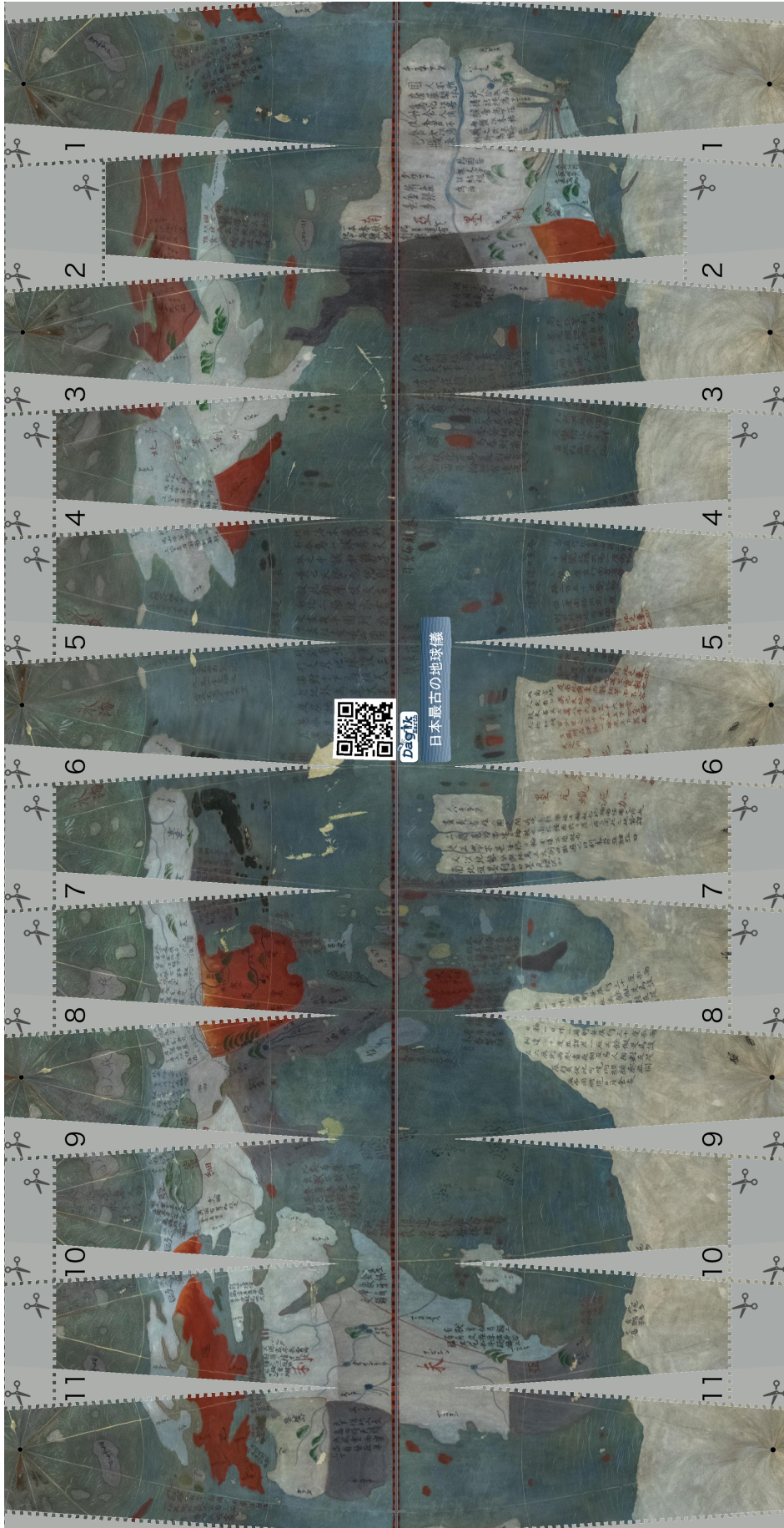
地球儀がいつ日本にもたらされたかははっきりしませんが、織田信長が所有していた記録があります。少なくとも織田信長は地球が丸い事を理解していたと想像できます。（ただし、天動説が日本に伝わるのは1770年頃になります。）

この地球儀は、中国に来たイタリア人宣教師マテオ・リッチが1602年に作成した「坤輿万国全図(こんよばんこくぜんず)」と呼ばれる(平面の)地図をもとにしていると考えられています。

データ: 国立科学博物館所蔵 渋川春海作 紙張子製地球儀の撮影画像

データ画像作成: Dagik Team

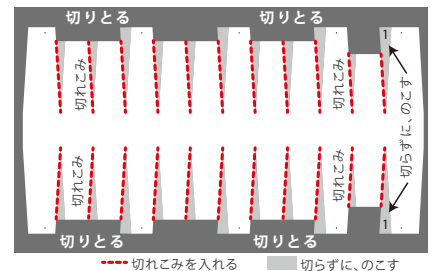
コンテンツ説明: <http://dagik.org/M/3>



このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の項目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものこすると、きれいになります。